

国内・国際交流事業

■問い合わせ先

市民協同推進課

☎(40)5585

■高松市へ

平成13年から始まった高松市との交流は今年も活発な交流が引き続き行われま



回目となる小学生派遣事業を実施しました。今年の派遣団は、市内小学6年生22名、団長、引率者（小学校教諭）と事務局（市民協働推進課）の計26名でした。



地元の国分寺北部小、南部小の児童との交流発表会やつながりの軸である讃岐国分寺跡等の貴重な歴史遺産を見学したり、讃岐国分寺交流協会の方々のご好意による地引網体験をしたりと、新たな友情作りと高松市の風土に触れ、両市の絆をさらに深めました。

■小学生受入事業

8月18日に高松市讃岐国分寺小学生交流団23名が下野市を訪問しました。ゆうゆう館で行われた

した。

8月5日～7

日までの3日間、

高松市との親善友

好交流として第13

歓迎会では、下野市国内交流協会の女性役員の方々により、かんぴょうの卵とじ汁をはじめカレーとサラダが振る舞われました。その後、高松市と下野市の小学生交流団員の交流会を行い、風土記の丘資料館や下野薬師寺歴史館、道の駅などを見学しました。



■第22回グリムの里 夏期 日本語講習会

下野市国際交流協会の主催で、毎年8月にグリムの里夏期日本語講習会を行い、ミュンヘン大学生が下野市を訪問、ホームステイし、様々なプログラムを通して日本語を学んだり、日本文化を体験したりしています。

22回目となる今回の講習会は8月17日(月)～8月31日(月)の2週間にわたって開催され、7名のミュンヘン大学生が参加しました。



今回は、専門の講師による日本語の授業をはじめ、書道・茶道体験、浴衣着付け体験などの日本の伝統文化を体験するプログラム、そして自治医科大学学生との交流会など、多彩な行事に参加していただきました。ご協力いただいたホストファミリー並びに関係者の方々に御礼申し上げます。

来年も広報しもつけの6月号で、ミュンヘン大学生をお世話していただくホストファミリーを募集する予定です。

ご興味のある方はぜひ参加してみてください。



浴衣着付け体験の様子



ふくべ細工作り体験の様子